

令和六年度 同志社女子大学メディア創造学科

プロジェクトプランニング演習 I II

京田辺ピクニックイベント

「たなピク」企画・運営

## 成果報告書

令和7年1月

たなピク Co.

(川地瑛子 深尾真悠子 白石理愛 小坂真由 中島ゆりこ)

## 目次

1. 本事業の概要
  - 1-1 弊社の概要・理念
  - 1-2 事業目的と背景
  - 1-3 たなピクについて
  - 1-4 地域への貢献
  - 1-5 目的実現に向けた活動内容
  
2. たなピクイベント実施報告
  - 2-1 イベント概要
  - 2-2 詳細
  - 2-3 実績
  - 2-4 イベントの様子
  - 2-5 課題
  - 2-6 イベントの総括
  
3. 本事業全体の成果
  - 3-1 主な成果
  - 3-2 今後に向けた課題の整理
  - 3-3 ビジネスモデルとしての今後のビジョン
  - 3-4 事業全体の総括

## 1. 本事業の概要

### 1-1 弊社の概要・理念

たなピク Co.は同志社女子大学メディア創造学科のプロジェクトプランニング演習において、キャンパスのある京都府京田辺市への地域貢献を目的として発足した仮想企業チームである。弊社は“非日常的な体験によって、京田辺の新たな魅力へ導く”を企業理念とし、京田辺市×ピクニックを掛け合わせた“たなピク”を社名に掲げ、これを主たる事業とする。ピクニックの持つ非日常性に着目し、非日常体験を提供することで京田辺市の新たな魅力を創造することを目指している。

### 1-2 事業目的と背景

弊社の目指す地域貢献において主なターゲットは京田辺市の子どもたちとし、弊社の提供するコンテンツを通じて子どもたちが京田辺市の新たな魅力に触れ、郷土愛を育むことを目的としている。ターゲットを子どもたちとする理由としてはこれからの未来を担う子どもたちへの支援やアプローチが、巡り巡って長期的な京田辺市への貢献につながると考えたためである。

また、この目的を制定した背景には「京田辺市の子どもたちに自分のふるさとを誇りに思ってもらいたい」「地元で沢山の体験をして将来地元での思い出を語り継いでほしい」という思いがある。この思いを実現するため、記憶に残る・ワクワクする・感動を与えるといった“非日常体験”を創ることが有効であると考え、それらの要素を持ち合わせたピクニックが最適であると考えた。

### 1-3 たなピクについて

“たなピク”とは、京田辺市×ピクニックを掛け合わせた地域ピクニックイベントであり、一般的なピクニックにおける食事・団欒・アクティビティ（遊び）のアクティビティの部分を地域の特性を活かした体験に置き換えたものである。京田辺市内の子どもたちに京田辺市ならではの特別な体験を提供することで、子どもたち自身が地域の魅力を改めて体感し地元での思い出となることを目的としている。

#### 1-4 地域への貢献

このたなピクにおいて我々が達成したい目標として、「子ども支援×地域活性」を掲げる。本事業では、地域活性の側面から京田辺市に関わる企業様・団体様との連携を行ない、企業・団体にご協力いただくことで地域ならではの体験やコンテンツの提供の実現を図る。本イベント開催によって子どもたちにとっての教育の場としての意義を持つほか、地域の企業・団体が弊社と協働し、たなピクを通じて自社コンテンツを提供することによって、企業・団体が地域への貢献を果たし、また自社のPRの機会として新たな顧客を創造するきっかけとなる。

また、こうした地域の子どもたちを対象とする「地域体験×ピクニック」というイベント形態は、事業として利益を継続的に得られるビジネスモデルとしての側面を持っており、弊社運営/連携企業/顧客/地域それぞれに対して循環的に利益が巡るフォーマットとしての有用性を備える。最終成果については後の3-3で言及する。

#### 1-5 目的実現に向けた活動内容

〔活動スケジュール〕

月	内容
4	プロジェクト始動/ 事業概要・理念の検討
5	活動内容の検討
6	事業内容の検討
7	活動方針の決定
8	スケジュール設定・調査準備・企画書作成
9	調査・企業訪問・企画書作成
10	調査結果分析・イベント内容構想・実施調査
11	企業打ち合わせ・企画構想・製作・PR・トレードフェア準備
12	トレードフェア出展・イベント実施・アンケート分析・報告書作成

本事業は授業の一環として行っているプロジェクトであり、週一回の授業時に対面にて行う会議を基本とし、その他必要に応じて課外活動を行っている。

### 春学期の活動概要

4月にたなピク Co.としてチームを立ちあげ、事業としての理念と取り扱う事業内容を制定した。

5月から6月にかけては社内会議を基本としながら、どのように京田辺市に貢献を図るのかという具体案の検討を行ったり、京田辺市の地域イベントに出向いて観測リサーチを行った。7月には実施する企画のビジョンを固めつつ、地域との関わりをどう持つかという点で協力をお願いする企業様の検討を始めながら、最終目標の確定を行なった。

### 秋学期の活動概要

8月は夏季休暇であったため、オンライン上での打ち合わせが主となったが、事業の本格開始に向けてニーズや企画構想のための調査の協力を BRANCH 松井山手様に依頼し、調査の形態や質問内容についての検討を行ったり、協力先の企業様への訪問依頼や企画書作成に取り組んだりといった活動を行った。

9月には各協力先への初訪問と BRANCH 松井山手様での調査の実施、またイベントの打ち合わせのため近鉄新田辺駅様への訪問を二度行った。

10月には近鉄新田辺駅様にイベント実施に関して正式な開催の承諾を得て、たなピクイベントについての企画の詳細について具体的に検討を進めた。特に自社の提供するピクニックという意義やたなピクというものの独自性について考え、たなピクならではの価値を定義するため、社員それぞれの考える従来のピクニックを行うことでピクニックという行為を分析するための実証調査、分析を行った。

イベント実施を1ヶ月前に控えた11月にはイベント全体や参加者の流れなど詳細な打ち合わせを近鉄新田辺駅様と幾度と重ね、また告知チラシやポスターデザインの制作、イベント PR のためのチラシ配布やポスター掲載、SNS での発信、イベント全体の仕掛けの構想、イベントでの特典や配布物の印刷・製作などイベントに向けた準備を精力的に行った。

PRにおいては、BRANCH 松井山手様と京田辺市立普賢寺小学校様にてポスター掲載・チラシ配布、近鉄新田辺駅様と MAIKO 茶ブティック様にてポスターの掲載、地域ニュースサイトの号外 NET 様にて WEB 記事の掲載という形で各所にご協力をいただくなど、外部の方々とやり取りを頻繁に行った。そしてトレードフェアに向けて Youth Enterprise アカウントの運営、審査用動画の制作、掲載用活動ポスターの製作など準備を行なった。

12月には初頭に Youth Enterprise での活動の集大成となるトレードフェアにオンラインにて出展し、オンライン面接、審査を受けた。そして本事業最大の目標であったたなピクイベントを7日に開催し、当日もほぼ定員満員となる約40名の親子にイベントにお越しいただき、近鉄新田辺駅での車内イベントとキララ商店街での屋内ピクニックは大盛況に終わった。

そしてイベントを終え、参加者の親子ともに当日ご記入いただいたアンケートの集計と分析を行い、イベント全体と事業としての取り組みの総括を行った。

## 2. たなピクイベントの実施報告

### 2-1 イベント概要

・イベントタイトル

『たなピク！親子で電車会&屋内ピクニック』

・実施目的

京田辺市にある施設を利用することでできるアクティビティやピクニックを通して、京田辺の魅力を知ってもらう又は再認識してもらうことによって京田辺市での記憶に残る思い出を育むことを目的としている。弊社の企業理念と事業目的に準え、結果として子供たちが近い将来、京田辺について語るときの思い出の材料になればと考える。

### 2-2 詳細

・内容

近鉄 新田辺駅に集合した参加者をホームへ案内。電車へ乗り込み、そのままその電車を車庫まで移動させ、車庫に停車している状態で、開会式や暗号解きミッションやアクティビティ（車内アナウンス体験・電車クイズ大会）等を行った。降車後はキララ商店街へ移動しピクニック（食事）を楽しみ、閉会式を行い解散する流れである。

ここからは各企画の詳細内容を記載する。

- ① 暗号解きミッション
- ② サプライズ企画
- ③ 近鉄 新田辺駅 車庫でのアクティビティ  
（車内アナウンス体験・電車クイズ大会）
- ④ じゃんけん列車
- ⑤ キララ商店街を使用したピクニック
- ⑥ 配布物及び参加者特典について

### ① 暗号解きミッション

イベント中、いくつかのタイミングで暗号のヒントを出し、京田辺市のキーフレーズである「ひとやすみ」を導き出す企画。プログラムの繋ぎ目に1つずつヒントを発表し、事前に配布していたイベント招待状に答えがあることを暗示させていく。イベント終了時の閉会式で解説を行った。食事の時間にゆっくりと考えてもらえるよう、ヒントの出し方やタイミングにもこだわり、また、暗号の予想ができるよう、各企画との関連性を持たせ、ヒント開示を行なうようにした。



### ② サプライズ企画

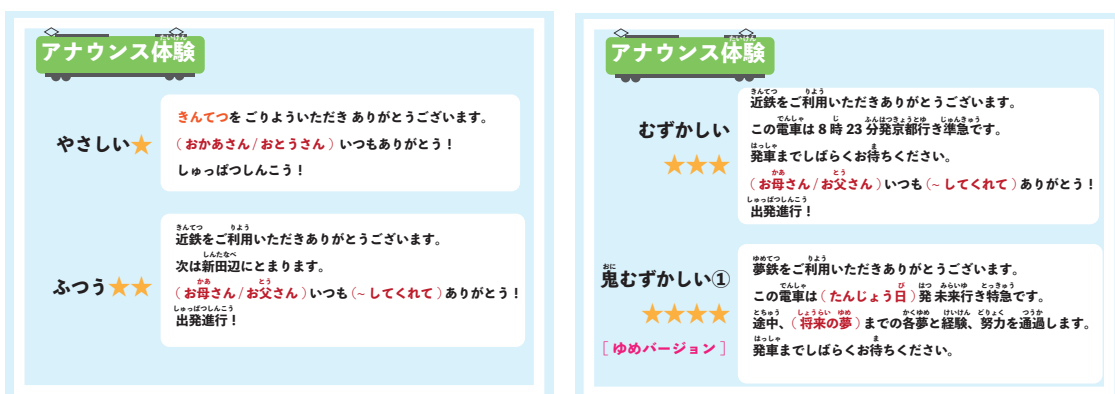
近鉄 新田辺駅に集合した参加者が、ホームからイベントで使用する電車に乗り込み、そのまま特別な線路を使って、アクティビティを行う車庫の停車場まで移動するという近鉄 駅職員様方考案の企画。参加者にはどのように車庫まで移動するかを事前に伝えておらず、当日のサプライズとして行なった。

### ③ 近鉄 新田辺駅 車庫でのアクティビティ



・車内アナウンス体験

電車内にある車掌マイクを使用し、子供たちが実際にアナウンス体験を行うという企画。近鉄で普段使われている規定の文言や弊社が考えた文言をいくつか準備し、子供たちが各自選択したものでアナウンスを体験した。弊社が考えた文言には保護者の方に感謝のメッセージを伝える一文を入れており、事前に保護者の目に触れる配布資料にはこの一文は記載せずにお渡ししていた。参加者の年齢差が広いとため、レベル別にして難易度の調整を図った。



・電車クイズ大会「親子で答えを出せ！チーム対抗電車クイズ大会！」

近鉄および、近鉄新田辺駅に関連するクイズを出題。駅職員が解答発表と解説を行った。参加者には1組ずつ（親子2人1組）A~Cの札を持ってもらい、15秒のシンキングタイム中に親子で1つの答えを決め、全チーム一斉に回答を出す。参加者を2つのグループに分け、チーム対抗戦で正解者数の多いチームに毎問1ポイントを与える。最終的にポイント数が多いチームに後日オリジナル賞状をメールにて送付した。クイズの問題については、電車に詳しい方やそうでない方みんなが楽しめるよう、また、参加者の年齢差にも配慮し、クイズのジャンルを増やすなどして対応した。

クイズ問題文例

たなピク！	たなピク！
<p>きんてつ しやりようめい <b>近鉄の車両名で</b> ぞんざい <b>存在するのはどれ??</b></p>	<p>きんてつ にほんいち <b>近鉄が日本一なのは</b> つぎ <b>次のうちどれ??</b></p>
<p>A. 夢の寝台特急 (エクスプレス) B. 桜の夢物語 (ファンタジー) C. 青の交響曲 (シンフォニー)</p>	<p>A. (運賃) 切符の値段の安さ B. 電車のスピード C. 路線の長さ</p>